

まちづくりフォーラム提言報告会を開催

5月11日、東郷町中央公民館

～語り合おう！ 私達の新しいまちを～



県内で初めて開かれたまちづくりフォーラム報告会

新市のまちづくり計画に住民の声を反映させるために設置された「まちづくりフォーラム」（中俣知大代表、四十五人）の提言報告会が五月十一日、東郷町中央公民館で開催されました。まちづくりフォーラムが協議会に提言した新市の将来像について、広く住民に知ってもらい、合併に対する理解を深めてもらおうと開いたものです。会場には関係市町村の住民ら約五百人が参加し、「語り合おう！私達の新しいまちを」をテーマにしたパネルディスカッションに、熱心に耳を傾けていました。

報告会ではまず、協議会会長の森卓朗・川内市長が「会場の様子から、地域の皆さんが市町村合併に大きな関心を持っていることが分かります。まちづくりフォーラムから百五十二項目に上る提言をいただいたが、これらを皆さんに理解してもらい、会場の皆さんの意見を聞いて今後のまちづくりに反映させたい」とあいさつ。森園正堂・東郷町長は「今後住んでいくまちを活力ある住みよいまちにしていくなために語り合いたい」と述べました。

まちづくりフォーラムの中俣代表は「合併にはメリット、デメリットがあるが、デメリットをどう乗り越えていくかが大切。合併で小さい市町村ではできなかったこともできるようになる。提言はなるべく分か

新市のまちづくりを探る

関係市町村住民ら約500人が参加

りやすくしたつもりだが、皆さんにお知らせして、広く意見を伺いたい」と語りました。次いで協議会の田中良二事務局長が市町村合併を考える背景や、川西薩地区法定合併協議会のこれまでの経過、今後の取り組みについて説明。まちづくりフォーラムの古城和行委員が、新市の面積や人口など概況について説明していききました。

また、この報告会は、フォーラム委員が主体となり会の運営・進行を行い、総合司会をまちづくりフォーラムの田島直美委員が務めました。パネルディスカッションでは、中俣代表をコーディネーター、小辻浩史・社会基盤グループ、宮下文明・生活環境



まちづくりフォーラム委員によるパネルディスカッション

グループ、伊集院睦子（保健福祉グループ）、柏木徹（産業経済グループ）、中島増夫（教育文化グループ）のまちづくりフォーラム各委員をパネリストに、新しいまちづくりに向けた議論が展開されました。

ディスカッションには会場の参加者も加わり、「提言の中にはお金がかかるものもある。財源的な裏付けにも配慮すべき」「提言では離島の利便性も上がるような気がするが、離島の医療問題は特に配慮してほしい」「原発をマイナス面だけでとらえず、エネルギー大学や研究所を誘致できないか」「第一次産業の中で林業振興の視点も必要」など意見が出されました。

新しいまちの一体感を

小辻 浩史さん

(社会基盤グループ)



合併に際しては、新しいまちの一体感の醸成が何より重要。そのためのインフラの整備の促進・充実とともに、地域特性の保持・増進などに力点を置いて提言をまとめました。提言は「どこへも便利・どこからも便利なアクセス網の充実」「新しいまちを描こう、顔づくり・姿づくり・まちづくり」を柱にしています。

アクセス網の充実では、一つには地域内アクセスの向上や各地域と空港との利便性を高める。二つ目には蘭牟田瀬戸大橋の実現、ヘリポートの整備、海上タクシーの活用など甌島との一体的なインフラ整備の推進。三つ目は川内市の「くるくるバス」を地域全体に広げるなど地域内の移動手段の確保・充実による活性化など。

顔づくりでは、川内駅東側(樋脇町・祁答院町・入来町・東郷町東側)の整備と道路アクセスの向上など新幹線開通のメリツトを最大限引き出す整備の促進など。姿づくりでは、海・山・川など地域特性を活かしたゾーニングなど。まちづくりでは、住民の声を反映しやすくする仕組みの構築などを提言しました。

環境先進都市づくりを

宮下 文明さん

(生活環境グループ)



基本的な考え方として、「環境先進都市づくり」を大きな目標に掲げ、離島を含む自治体における安心できる暮らし、定住・交流促進を念頭に置きました。この結果、「みんなで取り組む環境先進都市づくり」「安心できる広域消防救急体制の構築」「地域ニーズを踏まえた住宅・宅地の整備」「地域内外の人々が集う魅力ある公園・緑地・河川の活用」を提言しています。

パネルディスカッション パネリストの意見から

組織の育成など。
住宅・宅地では、公共賃貸住宅の整備、高齢者向け住宅と若年者向け住宅の一体的な整備など。公園・緑地・河川の活用では、利用頻度の低い公園の市民農園化、川内川に屋形船やボートを浮かべるなど川に親しむ機会の創出などを提言しています。

健康づくりと福祉の充実

伊集院睦子さん

(保健福祉グループ)

「自ら進んで行動し共に助け合う福祉社会」を形成するために、心身の健康づくり

や福祉サービスの充実を図ることを基本的な考え方としてまとめました。提言は「市民すべてが住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりの推進」「市民すべての健康づくりの推進」「安心して出産し子育てができる支援体制の充実」の三つの柱から構成されています。



「地域内循環経済の創出」を目標に、その達成に向けた産業間、地域間の交流・連携の強化を図ることを基本的な考え方に、「新たな時代に対応したダイナミックな農業の展開」「力強い水産業の新たな展開」「すそ野の広い観光産業の振興」「都市の魅力の創出」を柱に提言しました。
農業では、川西薩地区農業公社を設立し、

安心して暮らせる環境づくりでは、快適に日常生活を送れる高齢者・障害者福祉の充実、マンパワーの確保・ボランティアネットワークなどの地域福祉推進体制の充実、低料金の宿泊施設など甌島からの介助者の経費負担軽減など。
健康づくりでは、温泉を利用したユニバーサルデザイン化複合施設など拠点施設の充実、予防の観点に重点を置いた保健サービスの充実、甌島の環境を生かしたケアハウス等の甌島における医療施設の充実など。子育て支援では、少子化・核家族化、女性の社会進出に対応して、保育料の低料金化などの保育サービスの充実、二十四時間体制の小児科の設置など小児医療体制の強化を提言しています。

地域内循環経済の創出

柏木 淑さん

(産業経済グループ)



「地域力」が奏でる 「都市力」の創出をめざして

～まちづくりフォーラムの提言～

■新しいまちづくりの視点

・「地域力」を育み、新しい地域創造を目指す

新市を構成する“まち”は、恵まれた自然、伝統、文化等々、それぞれにすばらしい財産がある。良いものは残し、強化・充実し、また、地域内に広げていくことで地域特性を活かした“新しいまち”を創り出していく。

・「都市力」(都市の魅力)を最大限に発揮する

9市町村が一体となることにより、産業・観光等のあらゆる面で規模の拡大による効果や相乗効果が期待できる。インフラ整備を含め、13万都市の魅力を最大限発揮するような方策を推進していく。

■まちづくりフォーラムの提言する4つのプロジェクト

I「地域力」を育む、新しい地域創造プロジェクト

- ・コミュニティ活動の維持と自治組織活動の強化
- ・地域の特色を生かした教育の推進
- ・特色ある地域文化の保存・継承の推進
- ・みんなで取り組む環境先進都市づくり

II「フェイスtoフェイス」、うるおいと安心創出プロジェクト

- ・市民すべてが住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりの推進
- ・市民すべての健康づくりの推進
- ・安心して出産し子育てができる支援体制の充実
- ・安心できる広域消防救急体制の構築

III「潜在力」を発揮する、「産業活力」創生プロジェクト

- ・新たな時代に対応したダイナミックな農業の展開
- ・力強い水産業の新たな展開
- ・すそ野の広い観光産業の振興

IV「都市力」を創生する、新市飛翔プロジェクト

- ・「都市の魅力」の創出
- ・“どこへも便利・どこからも便利”なアクセス網の充実
- ・新しいまちを描こう 顔づくり・姿づくり・まちづくり”
- ・地域ニーズを踏まえた住宅・宅地の整備
- ・地域内外の人々が集う魅力ある公園・緑地・河川の活用

地域農業センター機能として位置づけ、農業政策を一元化する。このほか、集落単位の営農形態の構築、重点的な振興作物の選定による独自性のある産品づくりなど。

水産業では、甌島―串木野間の海域で大規模な畜養基地をつくり、いつでも新鮮な魚が供給できる体制の構築と、基地から地元スーパーなどに直接卸すシステムの構築、大型魚礁の設置など。

観光産業では、体験観光など既存観光資源の高付加価値化や、温泉と水産物、歴史文化資源と農産物など複数の観光資源の連携、観光課の設置など。都市の魅力では、港湾機能の強化、商店街の専門店化などを提言しています。

教育文化活動のネットワーク化

中島 増夫さん
(教育文化グループ)



教育文化活動は地域に深く根差していることから、各地域の特色を十分に生かしながら新市の教育文化活動の創造を目指し、ネットワーク化を図るといったのが提言の骨子です。提言は「地域の特色を生かした教育の推進」「特色ある地域文化の保存・継

承の推進と新たな文化の創造」「コミュニティ活動の維持・強化」の三分野に分けてまとめています。

教育では、地域の特色を生かした幼児・学校教育等の推進、生涯学習の広域的な展開・ネットワーク化、スポーツ活動を通じた健康づくりのほか、地域力を伸ばして地域の青少年育成活動の充実などを取り上げています。

文化活動では、それぞれの地域の伝統芸能・地域文化の保存・伝承、女性団体等の地域に根差した既存組織の活用と交流の推進など。コミュニティ活動では、地域社会の基礎単位としての単位自治組織の維持・充実に取り組み、特に小規模地域の公民館活動を維持できるよう支援していくこと、自治組織への加入の促進などを提言しています。

まちづくりフォーラムの位置付け

